

特集

その人らしい最期を支える
「アドバンス・ケア・プランニング」

意思決定能力の低下に備えた倫理的対応プロセスとは

2025年に団塊の世代が後期高齢者となるピークを迎える。今後、急性期病院では高齢者の受診および入院、手術が増加する状況が続く。治療期を終えた患者が人生の最終段階を考えるための意思決定のプロセスに、病院看護部はいかに関わればよいのだろうか。地域包括ケア時代における在宅側との連携のありかたとはどのようなものだろうか。

本特集では、いま、急性期病院で行われている高齢者・家族へのアドバンス・ケア・プランニング（意思決定支援）の実情から課題を探るとともに、在宅・地域との連携のヒントや、専門看護師らによる質の高い倫理的看護実践を共有し、“最後まで自分らしく生きる”ための支援の理想のありかたを探る。

在宅療養移行支援における意思決定支援の重要性、
その中における看護の役割

急性期病院と在宅側の連携に基づく「アドバンス・ケア・プランニング」●宇都宮宏子

【解説】患者の意思を尊重した人生の最終段階における

医療体制整備支援事業●後藤友美

【実践報告：EOLケアの実践と課題——高齢者本人と家族の意思決定支援と実現】

主に認知症を有する高齢者・家族への終末期に向けた意思決定支援

●高道香織

【実践報告：EOLケアの実践と課題——高齢者本人と家族の意思決定支援と実現】

循環器専門急性期病院の立場から●高田弥寿子

【実践報告：EOLケアの実践と課題——高齢者本人と家族の意思決定支援と実現】

在宅療養を支える訪問看護師の立場から●藤田愛

巻頭

うちの師長会・主任会⑬ 聖隷浜松病院

特別記事

【座談会】ユマニチュードの急性期病院における適用可能性

●井部俊子／イヴ・ジネスト／本田美和子

編集後記

▶11月号特集では“基礎と臨床のギャップを埋める”という、看護教育における永遠のテーマを改めて取り上げました。企画を終えて、基礎の先生方の関心事を詳しく知りたいと思い、過日、弊社主催「看護教員実力養成講座」を聴講しました。講師の任和子先生からは「基礎と臨床の教育に継ぎ目があってもいいけれど、今は溝が少し大きいのが実情でしょうか」との問いかけがありました。▶任先生もご参加くださいました週刊医学界新聞2942号座談会では、この「溝、シーム」はそもそも解決する必要があるのか（基礎—臨床での認識の違い、その原因はどこに？）、との問いから話が始まり、臨床でしか磨けない新人の「状況対応能力」を現場の教育力でいかに高めるか、とお話が展開しました（ぜひWebでご一読ください）。▶今年の弊誌は、特に連載で現場の教育力を高める企画に力を入れてまいりました。来年も引き続き、質の高い情報をお届けしたいと考えております。

（小齋）

▶子どもの頃、絵本に出てくる「びょういん」は「壁が白くて薬のにおいのする場所」でした。また、インターネットで「病院」のイラストを検索すると、ほとんどは凸型の白い建物です。おそらくそれが、広く認知されている「病院」のアイコンなのでしょうが、「病院」の写真を検索してみると、それぞれの病院建築の個性が少し見えてきます。▶ナイチンゲールが科学的方法をもって療養環境を考え、「患者に新たな害を与えないこと」が病院建築のあるべき姿だと述べたことは、EBMの先駆例でしたが、近年では「待合室から医療を変えようプロジェクト」など、病院の「場」としての価値の再構築にも注目が集まっています。ハード面から医療の質向上を目指すさまざまな方策に、今後も注目していきたいと思います。▶2006年に始まった人気連載「やじうま宮子の看護管理な日々」が最終回を迎えました。本連載が伝えてきたメッセージを大切にしながら、今後も読者の皆様と共に「看護管理」を考えたいと思います。

（笹山）

看護管理 第24巻第12号

2014年12月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2014, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2014年年間購読料

冊子版 18170円

冊子＋電子版／個人 21170円

冊子＋電子版／共有 23900円

電子版／個人 18170円

電子版／共有 20900円

（いずれも税込、送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、笹山、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（社）出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された【0917-1355/14/¥500/論文/JCOPY】は、1論文1回複製につき500円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook やってます!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をよろしく願いいたします。

http://www.facebook.com/kangokanri1991

●twitter アカウントは、@kangokanriです。

合わせてフォローをお願いいたします。